

2 授業の展開

	主な学習活動	時間	指導上の留意点
導入	<p>1 写真を見る。</p> <p>2 発問1を考える。</p> <p>「日本で唯一残っている凱旋門です。凱旋門というのは、戦争で勝った兵士を迎えるために作られた門です。この門は何戦争に関連するのでしょうか。」</p> <p>答え「日露戦争」</p> <p>「日本は日清戦争で中国に、日露戦争でロシアに勝ちました。特に日露戦争では、圧倒的な国力の差だったのに、勝ったのです。理由はいろいろありますが、海の戦いでロシアのバルチック艦隊に完全勝利をしたことが大きいのですが、その戦いを指揮していた人は鹿児島の人です。だれだか知っていますか。」</p> <p>答え「東郷平八郎」</p> <p>3 めあてを確認する。</p>	10分	<p>○国登録有形文化財「山田の石造り凱旋門」の写真を見せる。</p> <p>○クイズのような形式で、全員参加を促す。</p> <p>○できれば、日露戦争の資料を準備して見せると良い。(日本連合艦隊がバルチック艦隊を撃破したときの資料等があると良い。「坂の上の雲」や「日本海海戦」等のドラマやNHKの歴史ドキュメント等の動画の活用も生徒の関心を高められる。)</p> <p>○東郷平八郎の写真を見せる。</p>
<p>信念を通すことの大切さを考えてみよう。</p>			
展開	<p>4 読み物を読む。(p99～p106L3まで)</p> <p>5 発問2を考える。「平八郎に対してイギリス人から差別を受けても平八郎は負けじ魂で全力を尽くしたとありますが、それほどまで勉強したのは、どんな気持ちがあったのでしょうか。」</p> <p>生徒の考え「日本海軍を強くするため」 「日本のため」 「イギリス人に勝つため」</p> <p>6 読み物を読む。(p106L4～p106L10で)</p>	35分	<p>○生徒にリレー形式で読ませても良いし教師が抑揚をつけてゆつくり読むのも良い。</p> <p>○東郷平八郎の学びの信念を知る。いくら差別を受けても先進国のシステムを学び日本を良くしようとしたことに気づかせる。(東郷平八郎が戊辰戦争時の宮古湾海戦に参加したことをイギリス人が知った時から差別がやみ、敬意を示したという話もある。)</p>

	<p>7 補足事項を聞く。「西南戦争は、鹿児島県人同士も闘った悲惨な内戦でした。反乱軍には兄の小倉壮九郎もあり、最後は城山で自害しました。」</p> <p>8 発問3を考える。「勉学に専念しようと引き留めた平八郎の気持ちを考えてみよう。」</p> <p>生徒の考え「すごく苦しただろう」 「日本の海軍のために必死だったのだろう。」</p> <p>「もし私が日本に残っていたら西郷さんの下に馳せ参じていただろうと言っていたそうですから、日本のために勉強すると決意していても相当苦しんでいたのではないのでしょうか。」</p> <p>9 読み物を読む。(p106L11 ~ p107まで)</p> <p>10 発問4を考える。「今まで自分で信念を通してやったことがありますか。」</p> <p>生徒の考え「学校を休まない」 「剣道初段をとる」 「英検3級をとる」</p>	<p>○できれば、西南戦争、西郷隆盛等の資料を準備して見せると良い。</p> <p>○東郷平八郎の学びの信念を知る。資料だけでは弱いと考えるので、西南戦争による兄の死、みんなが慕っている恩人西郷隆盛の死を聞いてもなお勉強に専念した信念について考え、偉大さを感じられると良い。</p> <p>○経験がない生徒も他の友人の信念を知ること、信念を持つことの大切さや他の生き方を知り共有することができる。</p>
終末	<p>11 指示「加治屋町には、信念を通したいろいろな偉人がいます。西郷隆盛、大久保利通、山本権兵衛・・・いや加治屋町にこだわらなくても鹿児島県内には多くの偉人がいます。それぞれどんなことを成し遂げたのか、これからの郷土学習にて自分で調べてみましょう。また、偉人でなくても郷土の自然、地理、祭りなどいろいろなことを調べるのもいいでしょう。」</p>	<p>5分</p> <p>○これからの総合的な学習の時間について示唆を与える。</p>